

取扱説明書



FC5Aシリーズ

この度は、IDEC製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご注文の製品に間違いがないかご確認のうえ、この取扱説明書およびFC5A形インストラクションマニュアルの内容をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、この取扱説明書はユーザー様にて大切に保管ください。

マイクロスマート増設拡張モジュールはFC5AのI/O点数を拡張するモジュールです。FC5ACPUモジュールには最大7台モジュールを接続することができます。増設拡張モジュールを使用することでさらに8台のモジュールを接続することができます。本製品は用途に応じて、一体型とケーブル引き出し型の2タイプがあります。

増設拡張モジュールはFC5AスリムタイプCPUモジュール(FC5A-D32K3, FC5A-D32S3, FC5A-D16RK1, FC5A-D16RS1)と接続します。形番をご確認の上ご使用下さい。

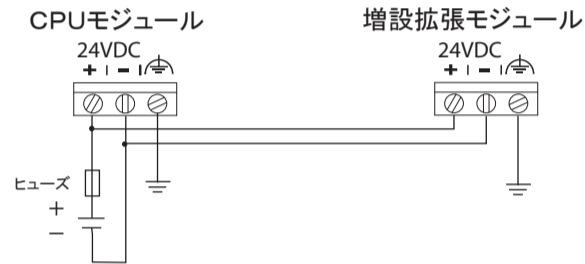
(FC5AオールインタイプCPUモジュール、FC4AスリムタイプおよびFC4Aオールインタイプには対応していませんのでご注意ください。)

1 形番構成

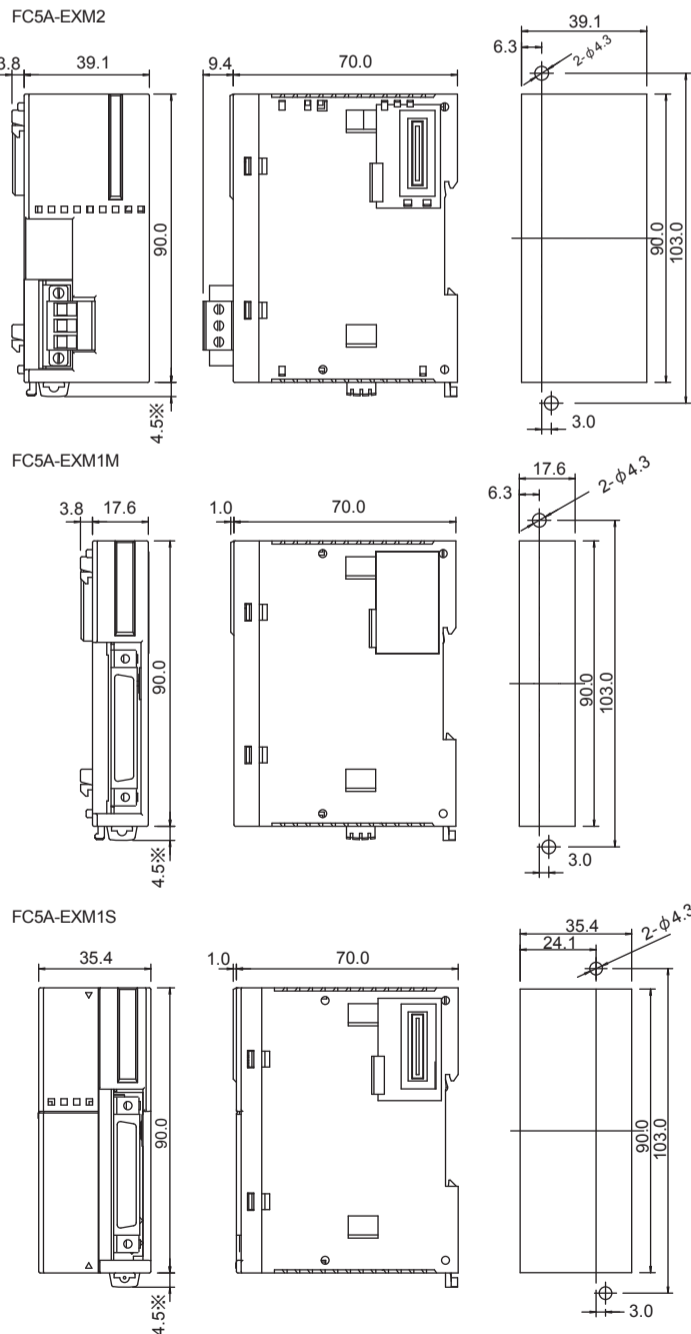
モジュール名	形番	詳細
増設拡張モジュール(一体型)	FC5A-EXM2	一体型
増設拡張モジュール(ケーブル引き出し型マスタ)	FC5A-EXM1M	ケーブル引き出し型
増設拡張モジュール(ケーブル引き出し型スレーブ)	FC5A-EXM1S	
通信ケーブル(1.0m)	FC5A-KX1C	

2 配線

CPUモジュールと増設拡張モジュールは同一電源でご使用下さい。

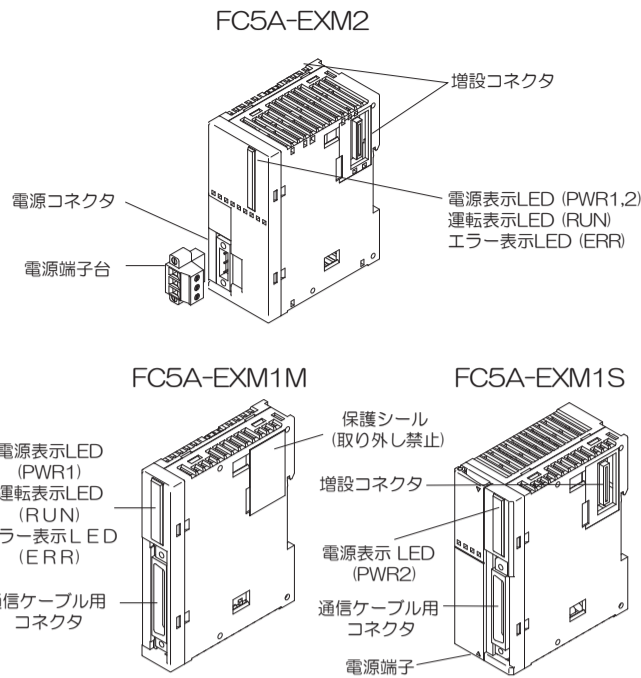


3 外形寸法図



※ フック引き出し時の寸法は8.5mmになります。単位：mm

4 名称と機能

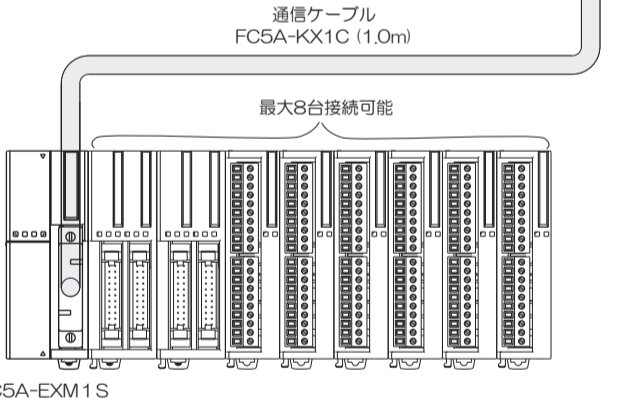
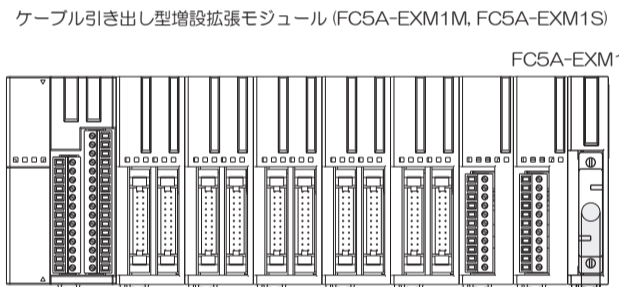
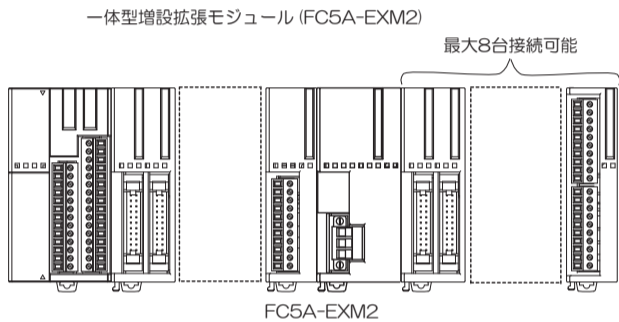


5 増設拡張モジュールの接続

増設拡張モジュールの右側にデジタルI/Oモジュールを8台まで接続することができます。接続可能なモジュール：DC入力モジュール/デジタル出力モジュール/入出力混合モジュール

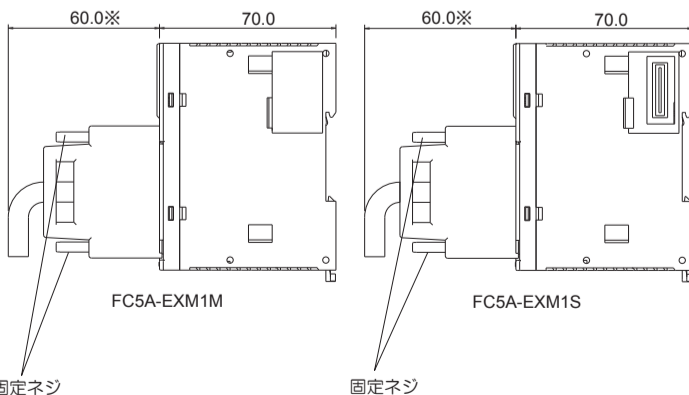
注意

- ・AC入力モジュール/アナログモジュール/AS-Interfaceマスターモジュールは接続できません。
- ・増設拡張モジュールは、1台のCPUモジュールに対して1台しか接続できません。



6 通信ケーブルの接続

ケーブル引き出し型増設拡張モジュールは、マスタ (FC5A-EXM1M) とスレーブ (FC5A-EXM1S) を専用の通信ケーブル (FC5A-KX1C) で接続し使用します。電源を切った状態で通信ケーブルを通信ケーブル用コネクタに接続し、固定ネジを締め付けて下さい。(締め付けトルク：0.25~0.31N・m)



※ケーブル屈折時の寸法の目安です。単位：mm

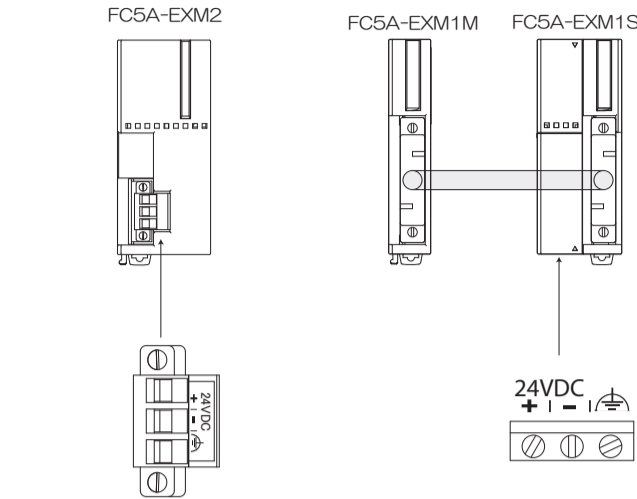
注意

CPUモジュールと増設拡張モジュールの電源を切った状態で通信ケーブルの挿抜を行ってください。電源を入れた状態でコネクタを抜挿すると故障の原因となります。

7 電源端子の接続

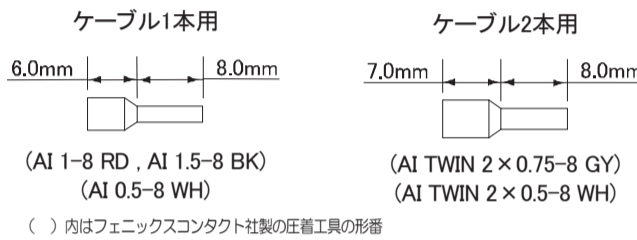
FC5A-EXM2  
モジュールから端子台を取り外した状態で電源の配線を行ってください。端子台を電源用コネクタに接続した後、固定用ネジを締め付けて下さい。(締め付けトルク：0.5N・m)

FC5A-EXM1S  
電源が切れていることを確認した後FC5A-EXM1Sに配線を行ってください。(締め付けトルク：0.5N・m)



8 適合端子寸法

下記の棒端子を圧着する際には、専用の圧着工具(CRIMPFOX ZA 3)をご使用下さい。



9 推奨ドライバ

マイクロスマートの端子台に配線する際には、次の推奨ドライバをご使用下さい。

(フェニックスコンタクト社製型番：SZS 0.6x3.5, SZS 0.4x2.5)

10 安全上のご注意

- 本製品の取り扱いには専門の知識が必要です。
- ・本製品の取り付け配線作業、運転および保守・点検を行う前に、この取扱説明書およびインストラクションマニュアルをよくお読みいただき、正しくご使用ください。
  - ・また、この取扱説明書は最終ユーザー様で保管されるよう手配下さい。
  - ・本製品は弊社の厳しい品質管理体制のもとで製造しておりますが、万一本製品の故障により重大な故障や損害の発生するおそれがある用途へご使用の際は、バックアップやフェールセーフ機能をシステムに追加してください。
  - ・取扱説明書、インストラクションマニュアルに記載の指示に従って取り付けください。取り付けに不備があると落下、故障、誤作動の原因となります。
  - ・使用条件が、取扱説明書やインストラクションマニュアルの内容と相違ないことを必ずご確認ください。内容に不明な点がある場合は、使用する前に弊社までご相談ください。
  - ・本取扱説明書では、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される危険の度合いを「警告」「注意」として区別しています。それぞれの意味するところは以下のとおりです。

警告

- 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
- ・取り付け、取り外し、配線作業および保守・点検は必ず電源を切って行ってください。感電および火災の危険があります。
  - ・非常停止回路やインタロック回路などはマイクロスマート以外の外部回路で構成してください。これらの回路をマイクロスマートのシステムで構成するとマイクロスマートが故障した場合、機械の暴走、破損や事故のおそれがあります。

注意

- 取り扱いを誤った場合、人が障害を負うか物的障害が発生する可能性があります。
- ・本製品は装置内への組み込み設置専用です。装置外には設置できません。
  - ・カタログ、インストラクションマニュアルに記載の環境下で、ご使用ください。
  - ・高温、多湿、結露、腐食性ガス、過度の振動・衝撃のある所で使用すると、感電、火災、誤動作の原因となります。
  - ・本製品の使用環境汚染度は「汚染度2」です。
  - ・設置、配線作業時に配線くずやドリル加工による金属の切り粉などが、本製品内部に入らないように注意してください。配線くずなどが本製品内部に入ると、火災、故障、誤動作の原因となります。
  - ・配線は印加電圧、通電電流に適した電線サイズを使用し、端子ねじは推奨締め付けトルク(電源部0.5N・m、通信ケーブル用コネクタ固定ネジ0.25~0.31N・m)で締め付けてください。
  - ・本製品の電源ライン、出力モジュールの出力ラインには印加電圧、通電電流に適したIEC60127承認ヒューズをご使用ください。(推奨:リデル社5x20mmスローブロー型218000シリーズ/タイプT)(マイクロスマートを組み込んだ機器を欧州に出荷する場合に適用)
  - ・サーキットブレーカをご使用の場合は、EU承認品をご使用ください。(マイクロスマートを組み込んだ機器を欧州に出荷する場合に適用)
  - ・分解、修理、改造等は行わないでください。

IDEC株式会社

http://www.idec.com

本社 〒532-8550 大阪市淀川区西宮原 1-7-31  
TEL : 06-6398-2500

取扱説明書でご不明な点が御座いましたら、下記の技術問い合わせ窓口へお問い合わせ下さい。

お問い合わせ時間：  
9:00~12:00 / 13:00~17:00  
(土・日曜日、祝日および弊社休日を除く)

【技術問い合わせ窓口】  
東京：03-5782-7692 名古屋：052-732-2712  
大阪：06-6398-3070 広島：082-242-7110  
福岡：092-474-6331